

2023年度会津大学宇宙情報科学研究センター
(月惑星探査アーカイブサイエンス拠点)
海外旅費助成 公募要領

2022年12月21日 (2023年3月8日一部改訂)
会津大学宇宙情報科学研究センター

1 本事業の趣旨と公募内容

会津大学宇宙情報科学研究センターは、宇宙科学と情報科学を融合した宇宙情報科学分野の研究を産学連携により促進させ、その成果を学術コミュニティに提供することで、この分野の研究の活性化と技術開発の進展に寄与することを目的としたセンターです。本センターは、「月惑星探査アーカイブサイエンス拠点」として、2019年度より文部科学省共同利用・共同研究拠点に認定されています。

月惑星探査アーカイブサイエンスとは、過去に実施された月惑星探査や観測的研究の結果得られ、蓄積されているデータを活用し、最新の知識・解析技術と組み合わせることで、新たな知見を得る研究の形態を指します。

この度、拠点活動のさらなる国際化を目的として、「海外旅費助成」の公募を実施します。既存の国際学会等の発表のための旅費助成制度では対象とされにくい、技術会合や研究会・学会等への参加や海外研究者との共同作業などのための海外渡航、滞在も対象とし、機動的に助成を行うことで、月惑星探査アーカイブサイエンス分野の国際的な知見、技術の共有や研究活動の推進を図り、月惑星探査アーカイブサイエンス拠点の活動範囲のさらなる拡大を目指すとともに、学術コミュニティの国際化にも貢献していきます。

2 公募事項

海外における短期間の研究活動実施のために、渡航費等の経費を助成するプログラムです。一例として、海外で開催されるデータプロダクト整備やソフトウェア開発の技術会合への参加、月惑星アーカイブサイエンス関連の研究会・学会等への参加や情報交換等の研究活動において、渡航費等の経費を支給します。申請課題の受け付け順に審査を行い、採否を決定するものとし、全体予算の範囲内で数件程度の採択を予定しています。なお本プログラムの応募者は、別途公募を行う「萌芽研究」「実用研究」の2カテゴリの「共同研究」、ならびに「海外招聘共同研究」に重複して応募することも可能です。

<募集研究テーマ>

- ア 月惑星探査アーカイブサイエンスに関する技術会合や研究会・学会等への参加
- イ 月惑星探査アーカイブサイエンスに関する意見・情報交換
- ウ その他、月惑星探査アーカイブサイエンスに関する研究活動

3 申請資格者

渡航を計画する申請者は、以下のいずれかの条件に該当する者としてします。なお、申請者は渡航の前までに所属する大学や研究機関、またはJSPSのeラーニングなどによる研究活動における不正行為を未然に防止するための研究倫理研修を受講してください。

- ア 国、公、私立大学の教員、研究機関の研究者、又はこれらに準ずる研究者（国、公、私立大学の技術職員も含む）
- イ 国、公、私立大学の大学院生
- ウ その他本センター長がアに準じると認めた者

4 助成対象となる渡航期間

事後清算の都合上、原則2024年2月29日（木）までに渡航が終了するものを対象とします。渡航期間がこれを越える場合には、事前に問合せ先までご相談ください。

5 申請方法

- (1) 申請書の書式ファイルは本センターのウェブサイトからダウンロードできます。次のURLをご参照ください。（別紙様式5） URL: <https://arcspace.jp/ja:jointresearch:top>
- (2) 作成した申請書の電子データを「12 提出先」のメールアドレス宛てにお送りください。
- (3) 海外旅費助成の申請にあたって、申請者は必要に応じて、出張目的、出張内容、経費等について、本センター本務教員と事前の相談ができます。
- (4) 申請書の言語は英語または日本語とします。
- (5) 渡航する申請者が大学院生の場合は、財団法人日本国際教育支援協会の学生教育研究災害障害保険（付帯賠償責任保険を含む）またはこれと同等以上の保険に加入していることが条件となります。

6 経費等

(1) 申請可能な経費

海外旅費助成において申請できる経費は以下の通りです。なお申請者が使用可能な別予算と合わせての渡航も可能です。（例：学会発表等のために渡航する際、渡航費および学会参加期間の滞在費用を申請者が使用可能な別予算より支出し、その前後に実施する渡航先での研究活動期間の滞在費用を本海外旅費助成において申請する）

- ア 渡航費（申請者の居住地から渡航先までの往復交通費）
- イ 宿泊費および日当
（ア及びイは本学の旅費規程によるため、詳細は問い合わせ先まで事前にお問合せください）
- ウ その他渡航に伴い発生する経費
（保険料、参加登録費など。詳細は事前に問い合わせ先までご相談ください）

(2) 支払いの方法

申請経費は、採択を受けた者から提出される指定の書類をもとに、航空費については実費、宿泊費・日当については本センター規程に基づき精算します。

7 募集期間

2022年12月21日（水）～ 2024年1月31日（水）の期間内で随時受け付けます。

8 申請課題の採択

- (1) 申請課題の採否は申請書受付後、速やかに公募審議・選定委員会が審議し、その報告を受けた運営委員会が決定します。
- (2) 審議にあたり、必要に応じて申請者から説明を聞くことがあります。
- (3) 海外旅費助成の審議にあたり、出張目的、出張内容、経費等に関しては、申請者との間で調整を行うことがあります。
- (4) 採否結果は、公募申請者あてに連絡します。採択された申請については、出張件名、申請者名、申請者所属機関の各情報をウェブサイトに掲載しますので、予めご了承ください。

9 報告書

- (1) 「会津大学 宇宙情報科学研究センター海外旅費助成による渡航報告書」（以下「渡航報告書」という）を出張終了後1か月以内に「11 提出先」へA4版、MS-Word文書として英語または日本語で提出してください。
- (2) 渡航報告書が特段の理由がなく期限までに提出されない場合は、2023年度の本拠点事業への申請は受理しませんのでご注意ください。

渡航報告書の書式ファイルは本センターのウェブサイトからダウンロードできます。次のURLをご覧ください。（別紙様式6） URL: <https://arcspace.jp/ja:jointresearch:top>

10 成果の公表

- (1) 本助成の実施年度終了後に、報告書の「成果の公表状況」の項に記載された内容等を元に、成果を本センターのウェブサイトですべて公開します。この際、個別に採択者に対して報告書提出以降の成果の公表状況等について問い合わせを行うことがあります。
- (2) 渡航結果やその成果を、本センター主催の研究会等で発表していただくことがあります。
- (3) 渡航の成果を含む研究の成果を採択者が公表する場合（学術論文、学会発表等を含む）は、当該論文等の謝辞（acknowledgements）の欄に本センターから助成を受けた旨を付記してください。謝辞の文例は以下のウェブサイトにも示しています。

(<https://arcspace.jp/doku.php?id=ja:misc:acknowledgments>) なお、参考として、次の例文を挙げておきます。

- This work was supported by MEXT Promotion of Distinctive Joint Research Center Program Grant Number JPMXP0622717003.

- 本研究は文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 JPMXP0622717003 の助成を受けたものです。

- (4) また、公表に関わる発表の情報、論文の書誌情報、論文等の別刷りまたは電子版を「11 提出先」へメールで提出してください。

- (5) 本拠点の役割と本事業の趣旨に鑑み、渡航の成果を含む研究の成果は可能な限り公開され、広く学術コミュニティによる自由な利用に供して頂くことを要望します。

11 提出先・問い合わせ先

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

公立大学法人会津大学宇宙情報科学研究センター事務局（企画連携課内）

TEL：0242-37-2511（受付時間：8:30～17:15）

FAX：0242-37-2546

E-mail：arospace-kobo@u-aizu.ac.jp

【参考】

申請にあたって、出張目的、出張内容、経費等について、本センター本務教員と事前の相談（公募要領5(3)）が必要な場合は、以下の本センター本務教員とその連絡先のリストをご活用ください。

出村 裕英 教授	demura@u-aizu.ac.jp
平田 成 上級准教授	naruu@u-aizu.ac.jp
小川 佳子 上級准教授	yoshiko@u-aizu.ac.jp
本田 親寿 准教授	chonda@u-aizu.ac.jp
北里 宏平 准教授	kitazato@u-aizu.ac.jp
奥平 恭子 准教授	okudaira@u-aizu.ac.jp